

みんな・みんなの会は皆さんのお陰で、10年目に入りました！

みんな・みんなの会の第8回総会を9月30日(土)午後1時から名古屋市中小企業振興会館4階の第7会議室で行います。総会では①2016年度活動報告②2016年度会計報告(収支決算)③「木曾川流域水源の里基金」の現状報告と運用④2017年度活動計画⑤2017年度予算などについて話し合います。会員の皆さん、ご出席下さい。

総会に続いて午後2時過ぎから木曾川上下流交流・連携の集いを行います。今回は木曾町長・原久仁男さんをお招きして、上流域から見た上下流交流・連携の現状や課題、そして2014年9月27日の御嶽山噴火から3年の最前線で、感じたり、思っておられることを話していただきます。よろしくお願ひします。

みんな・みんなの会第8回総会

&木曾川上下流交流・連携の集い

日時：9月30日(土) 13時開場、13時15分開始

会場：名古屋市中小企業振興会館4階第7会議室 電話：052-735-2111

(地下鉄桜通線・吹上下車、5番出口で西へ徒歩5分)

☆みんな・みんなの会総会：13時15分～14時10分

☆木曾川上下流交流・連携の集い：14時15分～16時15分

内容：木曾川上下流交流・連携の課題や現場から見え、感じていること

*講師：原久仁男さん(木曾町長)

☆連帯あいさつ：唐沢尚之さん(木曾町・小池靴店)、土屋朋子さん(七宗町地域おこし協力隊)、木曾広域連合地域振興課、……

☆参加費：1,000円(資料代含む)

みんな・みんなの会は「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を合言葉に、木曾川流域(木曾川、飛騨川、愛知用水)の上下流交流・連携を目的に2008年9月から活動を始めました。

源流から伊勢湾まで、川が主役の『木曾川流域図』作り、木曾川流域水源の里基金の設立、「水源の里を守ろう 木曾川流域集会」の開催、そして上流地域(長野県木祖村、木曾町)での大豆作り、味噌造りなど、さまざまな活動を9年間行なってきました。

2008年9月13日、「水源の里を守ろう 木曾川流域集会」を開催。その年の12月に「木曾川流域水源の里基金」を設立して、今日に至っています。皆さんのお陰で、みんな・みんなの会は10年目に入りました。

2018年9月に、「水源の里を守ろう 木曾川流域10周年集会」を開催したいと考えています。皆さん、お忙しいと思いますが、ぜひご参加ください。来年の話(!)ですが、よろしくお願ひします。



(△木曾官材市売協同組合 HPより引用)

木曾町を「感じる・知る・楽しむ」バスツアー

みんなの会では、上下流交流・連携や地域おこしの新しい展開を求めて、4月と7月に木曾町の方々とミーティングを行いました。4月には木曾町の地域資源や課題についてフリートーキングし、7月には木曾町の原町長にも参加いただき、まず一步踏み出すための具体的な取り組みができないかを話し合いました。そして、10月9日(祝・月)に木曾町の魅力や歴史について現場で体感するツアーを計画することとなりました。

訪れるのは4か所で、5つのテーマに沿って進むこととしました。

- 1、戦後の一時期までバイオリンやギターの国内生産を支えた木曾町「鈴木バイオリン」の当時の所在地を見ながら、その歴史を学ぶ。
- 2、木曾福島駅北エリアに植樹された「木曾五木」の現場を訪れ、経緯や木曾五木について学ぶ。
- 3、「ふるさと体験館きそふくしま」で昼食を取りながら、体験館の活動について学ぶ。
- 4、同じく体験館で木曾五木の一つ「ねずこ」の木を原料に、現在も続く下駄づくりを体験しながら学ぶ。「ねずこ」を感じ、知る。
- 5、「すんき」に含まれる乳酸菌で発酵させた豆乳づくりの製造・販売現場(開田高原)を訪れ、発酵文化について学ぶ。

地域資源の“地図づくり”に向けた第一歩

このツアーでは木曾町のご協力をいただくこととなりました。参加者内で木曾町の魅力を共有することで、4月から始まった今回の取り組みを今後発展させていくための基礎作りになると考えています。上下流交流の具体的な成果を高めていくためには、上流からの発信力の強化が欠かせません。上流域(今回は木曾町)の地域資源の魅力を再発見し、発信力向上のためそれを磨いていく作業の繰り返しが必要となります。この地道な作業が新たな観光資源や新商品の開発、さらにやがては新しい経済システムの構築に繋がる可能性を持っているからです。

交流を事業化するためには経済の問題を抜

きに進めることはできません。そしてそこには①適切な“サイズ”感②循環型経済③トレサビリティ(ある商品に関して“原料”から“製品”まで、全ての情報が明らかになっている)の確保が必須の条件だと考えています。これまでスケールメリットを語るシステムは数多く考えられましたが、これからの時代は、殊に上下流交流というテーマでは“スケールデメリット”を常に意識する必要があります。規模が大きくなりすぎると原料や燃料を輸入に頼ったりして、最終的な収益が地元に残らないリスクが高まるためです。同じ理由で循環型である点も重要です。製造工程(原料生産、加工、流通、販売)が上流域内で完結している比率が高けれ

ば高いほど、収益以外にも新たな雇用創出の期待感が高まります。そして、トレサビリティ(安全安心な流通関係)の確保は、供給側と需要側の距離を縮め、不要な流通コストの削減や「供給側の業務拡大＝新規雇用創出」という構図がより一層促されます。

そうした意味で、供給側である上流域と需要側である下流域が最初から手を組んで作業を進められる点に、「みんなの会」の大きな“強味”があるのです。わたし自身も”名古屋の生協の一職員”という立場を、今後益々生かしながら関わっていくことになりそうです。

また、今回のバスツアーは第1弾に過ぎません。今回訪れた場所は”地域資源その1”として資源地図にまとめていく作業を後日行う予定です。そして、ツアーは内容を更新しながら継続していくべきです。ツアーのたびに資源地図のポイントが増え、それぞれの内容も深みを増していくはずで、この地図がそのまま木曾町の発信力のレベルに直結するのです。

※なお、バスツアーの呼びかけは、下流域では事務局長の近藤と私、上流域では小池糶店の唐沢さんとなっています。

(文責 みんなの会事務局次長・鈴木)

発酵食品でつながる人びとの熱い思い

～発酵サミット in 犬山～

8月5日、全国発酵サミットが犬山市国際観光センターで開催されました。

主催は「発酵サミット2017実行委員会」。

開場は200名ほどの発酵食品や食の安全に関心を寄せる老若男女の熱気にあふれていました。特に3～40代の女性たちと子どもたちの参加が多かったように思います。

午前10時に『発酵文化人類学』(木楽舎)の著書で知られている小倉ヒラクさん(みんなの会ニュース13号で紹介)のあいさつとお話で始まりました。パネルディスカッションでは澤田酒造、角屋文治郎商店(三河みりん)、菱六もやし(種麴)、浅野や(手造り味噌)、東海醸

と西側では伏流水が異なり西側は木曾川の伏流水、東側は矢作川の伏流水が出る」「常滑は安易に縦に井戸を掘ると粘土層に当たり、また鉄分が含まれた水では酒には向かない」「知多半島は水が乏しいという印象があるが、ため池や伏流水など様々な知恵と工夫で良質な水を確保していたから醸造メーカーがいくつも生まれたのでは」と休憩のときにお話ししてくれました。

午後からは会場の中では、茹でた大豆を潰し塩糶と混ぜてこねて瓶にビチャッと味噌造り体験、鯉節を削る体験、発酵ドレッシングを作る体験など、いろいろな体験コーナーが同時開催されました。

もう一つの部屋ではマルシェが開かれており、また会場のあちこちで子どもたちの元気で賑やかな声の中で様々な生産者たちの話が紹介されていました。

味噌の歌とダンスも紹介され、大人も子どもたちと一緒に踊りました。

抽選会では協賛している生産者からの商品が多くの特選者にプレゼントされました。

夜は懇親会も開催され、シェフのこだわりの発酵メニューでお腹と胸がいっぱいに。そこでは毎月「覚王山マルシェ」で顔を合わせている農家の方や生物多様性・遺伝子組み換え作物の問題に取り組んできている人びととの再会が



造(味噌・たまり)が、それぞれモノづくりに対する熱い思いを語ってくれました＝写真。

澤田酒造の澤田英敏さんは「知多半島の東側

あつたり、また小池糰店の唐沢さんから中津川で発酵食材を生かした食堂を開いている方など紹介していただきました。

今回の発酵サミット開催の話は、小池糰店の唐沢さんから聞きました。唐沢さんは、今回の実行委員長である犬山の糰屋の海老澤さんと

はとても親しく、小倉ヒラクさんたちが頑張っている催しと紹介されて参加しました。

私が今まで参加した催しとは一味も二味も違って、楽しく生き活きとしたサミットでした。来年のサミット場所は未定ですが、日には今回と同じ8月5日(日)に開催予定です。(近藤)

これからの「みんな・みんな楽作隊」活動日程

2011年春から木曾川源流の里・木祖村に約180坪の畑を借りて大豆を主に、トウモロコシやかぼちゃなどを作り始めました。木曾川上下流交流・連携の一環として「行きつけの場所」を上流に作りたいたいと考えていたことと重なり合って、木祖村の人びとの支援、協力をいただきながら“楽しさ いっぱい、苦しさ 少々!?”の大豆作りなどを今日まで続けています。

私たちの大豆作り・味噌造りは、木曾川の上下流交流・連携の具体的取り組みの一環です。

9月23(土)～24日(日) 稲刈り体験

10月21(土)～22日(日) 大豆収穫

11月18(土)～19日(日) 殻たたき

<みんな・みんなの会からのお知らせ>



☆9月17、18日、今池まつり。今回は、いつもの十六銀行付近の場所から通り沿いに、少し南へ移動します。

今回も木曾川上流域の木曾広域連合の方々と一緒に、木曾川上流域のトウモロコシや新鮮野菜、そして私たちの作っている大豆の枝豆、味噌『みなもと』、「木曾川流域図」などの販売を行います。

今池まつりは、多民族文化のまつり=写真=でもあります。「共に生きる街」!

参加できる方は連絡下さい。

近藤 携帯：090-4150-6156

☆10月1日(日)、午前9時から覚王山マルシェに出店します。場所は日泰寺参道のコンビニ駐車場。続けてきたことで、いろいろな出会いが生まれてきています。

☆11月3日(祝・金)、七宗町、白川町の飛騨川流域に出かけます。

～会員の皆さまへのお願い～

猛暑の続く中、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

日頃、活動へのご支援・ご協力くださり誠にありがとうございます。

私たちの活動は、会員の皆さまの会費やご寄附によって支えられています。ぜひとも継続してご支援いただきますようお願いいたします。会費のご入金と同封の郵便振替用紙をご利用ください。

なお、行き違いでご入金の場合はご容赦ください。継続を希望されない場合(退会)はお手数ですが、下記のFAX、メール、郵便でご連絡ください。よろしく申し上げます。

水源の里を守ろう 木曾川流域みんな・みんなの会

連絡先：〒464-0075 名古屋市千種区内山3-7-11 さいとう事務所気付
TEL 052-745-1001 FAX 052-741-2588 Mail suigennosato@gmail.com